

キャラクター名
椰子 遠矢

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	高校生
オプション		年齢	17歳	性別	男
覚醒	感染	衝動	殺戮	初期侵食率	37 %
出自	赤	経験	仮面ライダー	邂逅	黒のコートと赤いマフラー

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	1	0	0			1	行動値	10
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	10
精神	5	1	2			8	戦闘移動	15
社会	1	0	0			1	全力移動	30

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	2	1	調達	1	
運転:			芸術:			知識: 友達	2		情報: UGN→魔法	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
混沌なる者の槍	白兵	8r+2	4	12		2種類のシンドロームで判定すると+3d
	白兵	16r+2	4	12+5		100以下コンボ D込み
	白兵	17r+2	4	12+5		100以上コンボ D込み スリッパダメージ40 HP5失う

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
ウェポンケース	
制服	
思い出の一品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
達人	P	N		
好きだった人	P 純愛	N 憐憫		
日和見 雪乃	P 友情	N 脅威		
"悪化てる魔" ブラック・マリ・ゴルド	P 庇護	N 不信任		
にっち	P 連帯感	Nウソガキ		
ハルト	P 信頼	N 憐憫		
天野千鳥	P 親近感	N 恥辱		

最大財産P: 4 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コントロールソート	1	2+2	メジャー	武器		白兵		
効果:	白兵を精神で判定+2d ATK+5							
C:ノイマン	2	2	メジャー			シンドローム		
効果:	C-Lv(7)							
原初の赤:貪欲なる拳3	2	3+1	メジャー	武器		白兵		
効果:	白兵の判定+(Lv+1d)							
混色の泥濘3	1	2	メジャー		範囲(選択)	シンドローム		
効果:	原初を組み合わせた判定を拡大							
原初の灰:鮮血の修羅3	3	6+2	メジャー		単体	シンドローム	120殺戮	
効果:	加ダメージ後のクリンナップで対象はHPをLv*10失う。 mp終了時HPを5失う							
クイックダッシュ3	1	4	セットアップ	至近	自身	自動		
効果:	戦闘移動 1SLv							
ドクタードリトル	1		常時	至近	自身	自動		
効果:	言語達者							
シャドウダイバー	1	2	メジャー	至近	単体	自動		
効果:	対象の感情を読み取る							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

攻撃方法は槍で攻撃、120%を超えると攻撃を受けた箇所に彼岸花の刻印が現れ、指を弾くと爆発する。
 ○クラスでの位置づけ:サボリ系不良
 ○服装:制服。私服はパーカーをよく着る。
 ○性格:さっぱり
 ○部活・趣味:帰宅部。音楽鑑賞とかゲーム、読書
 ○好きなもの
 amazarasiとオーイシマサヨシ、コーヒー
 ○嫌いなもの
 おから
 彼岸花は子供の頃好きだった子が好きだった花。
 中学校に進学してその子とは合わなくなったしどこへ行ったのかもわからない。
 ただ、漠然とこの花が似合う女の子だった。
 実は志望校に落ちておりあまり学校生活に気乗りしていなかった。
 顔なじみのPC1やPC3、ここで出会えた友人のおかげで学校生活も悪くないとは思っている。
 しかし一年の頃ついてしまったサボリ癖、居眠り癖が治らず、不良のレッテルを張られている。
 仮面ライダーについて
 幼少のころから本は読むほうであったが、こちらのほうが影響が大きい。
 子供向けの童話や絵本は彼にとって教訓となったが、これは道徳として定着した。